

第16回 神経筋超音波研究会

日時：2023年11月30日（木）
18:30～20:30

会場：福岡国際会議場 第2会場 5階

「国際会議室 501」

ハイブリッド形式
【WEB視聴 事前参加登録制 11/29㊦切】

視聴方法

下記URLもしくはQRコードから登録後、ご視聴頂けます。

<https://bit.ly/3QxpxBh>



当番世話人 挨拶

皆さん、こんにちは。

「第16回神経筋超音波研究会」へのご参加誠にありがとうございます。

当番世話人の県立広島病院 越智でございます。

前半は一般演題として、神経筋超音波検査に関連した症例報告を中心に、御発表いただきます。

多数の応募をいただき、一部の発表に関しては、お願いをして、土曜日のハンズオンセッションの後に回っていただきましたので、お時間が許す様であれば、そちらにも参加していただければと思います。

今回のテーマは、「神経筋超音波検査において正常と異常を切り分ける」とし、後半の特別講演として、神経筋超音波の第一人者の先生方に最新の情報を含めてご講演をお願いしました。

ライブ配信もいたしますので、全国どこからでもご参加頂けます。楽しみにしててください。宜しく願い申し上げます。

第16回 当番世話人 越智 一秀（県立広島病院 脳神経内科）

- ・講演会場では、軽食をご用意させていただきます。ご所属の院内規定をご確認の上、ご参加ください。
- ・当日は、会則に則り、現地参加される場合、会費として1,000円を徴収させていただきます。
- ・ご登録いただいた個人情報は個人情報保護法、及び当機構プライバシーポリシーを遵守し、厳密に取り扱わせていただきます。

共催：神経筋超音波研究会/一般社団法人日本血液製剤機構

第16回神経筋超音波研究会 プログラム

開会挨拶：天理よろづ相談所病院 神経筋疾患センター・脳神経内科

野寺 裕之 先生

第一部 症例検討

【座長】 県立広島病院 脳神経内科 越智 一秀 先生

【演題1】

筋膨隆現象を筋エコーで捉えることができたirAE甲状腺機能低下性ミオパチーの1例

独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター 脳神経内科

俵 望 先生

【演題2】

神経超音波で神経根の腫大を認めた筋萎縮性側索硬化症の一例

和歌山生協病院 内科

福島 功士 先生

【演題3】

手術前後の腓骨神経障害評価に神経超音波検査が有用であった1例

香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

大栗 聖由 先生

【演題4】

急性期脳卒中患者における超音波法を用いた横隔膜運動と嚥下の関連性

天理よろづ相談所病院 臨床検査部

藤川 麻由美 先生

【演題5】

著明な神経腫大を認めた慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)疑いの1例

独立行政法人国立病院機構福島病院 脳神経内科

伊藤 英一 先生

【演題6】

炎症性筋疾患の解析におけるテクスチャー解析の有用性の検討

近森病院 脳神経内科・リウマチ膠原病内科

吉田 剛 先生

第二部 特別講演

【座長】 独立行政法人国立病院機構 箱根病院 阿部 達哉 先生

【特別講演1】 神経肥厚の判定における基準値の解釈：CIDP鑑別のために

広島大学病院 脳神経内科

杉本 太路 先生

【特別講演2】 筋超音波検査結果の定量化に関する研究

神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学

関口 兼司 先生

閉会挨拶：千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学 三澤 園子 先生